

貴フォーラムから、2013年6月25日付でいただきました公開質問状に対し、回答させていただきます。

我が国は、すでに人口減少・高齢社会に入っています。このような中で、神戸市は、時代環境に対応するため、これまでの歴史やまちづくりの実績の上に立ち、市民のみなさんのご意見を的確に反映し、内外の知恵をあつめて、都市経営を行っていかねばなりません。

私は、これまでの矢田市政の成果を受け継ぐべくところは受け継ぎ、変えるべきところは大胆に変え、市民の付託に応えていきたいと考えています。

矢田市長の下で、断固たる決意のもとに財政改革が進められ、神戸市は財政再建団体への転落を回避し、指定都市の中で見て遜色のない財政の健全性を回復させることができました。私は、このような成果の上に立ち、引き続き市政運営にあたっては、財政の健全性を維持しながら、積極果敢に政策展開を行い、市民生活の確保を最優先にした財政運営を行います。

神戸市ではこれまでさまざまなプロジェクトが推進され、社会資本が整備されてきました。今後は、我が国が成熟社会に入っているという基本認識の下、未来を見据えたプロジェクトの展開を図る一方、ご指摘の神戸空港や地下鉄海岸線などすでに整備されてきた社会資本を有効に活用し、将来を見据えた街づくりを行っていくことが重要と考えます。

わたくしは、「人間の尊厳を大切にする」「市民のみなさんの知恵をあつめる」「人・モノ・情報の動きをつくり、発信する」の3つの基本姿勢のもとに、

- ① 市民が元気で働けるにぎわいのあるまちに
- ② 世界に誇れる 夢のあるまちに
- ③ 安心して子育て・教育ができるまちに
- ④ 市民が地域とつながり 福祉・医療が充実したまちに
- ⑤ 本物の市政改革をすすめ新しい地方自治がはじまるまちに

の5つの目標を立てています。

女性の働く場の確保、保育所、学童保育、中学校給食、子育て支援は、きわめて重要な政策テーマであると考えています。

また、原発を再稼働させる場合には、国が定めた安全性基準を満たす

ことは最低限の条件であり、これに加えて関西電力も自ら積極的に徹底した安全対策を講じることが不可欠です。今後のエネルギー政策については、将来的に再生可能エネルギーなど多様な代替電源の導入を図ることにより、原発依存度を引き下げていくことが重要であり、そのためには、新たなテクノロジーを用いた「エネルギーイノベーション」を創出していくことが必要であると考えます。

他の事項については、これまでの神戸市政の取り組みを踏まえながら、取り組んでいきたいと考えますが、今後市民のみなさんとの対話を重ねる中で、さらに自分なりの考え方をお示ししていきます。

平成 25 年 6 月 30 日

久元 喜造